令和6年度 第2回周南市スポーツ推進計画策定委員会 会議録

1. 日 時：令和6年10月3日（木）19時00分～20時30分
2. 場 所：周南市役所本庁舎2階共用会議室E
3. 出席者：瀬尾賢一郎委員、明石和憲委員、近藤優子委員、藤本真樹委員、
徳原峰男委員、末長裕昌委員、藤井学委員、岡崎好治委員、
赤岸桃子委員
欠席者：児島佳子委員
4. 事務局：スポーツ振興課 坂本、角田、吉松、河添
5. 傍聴者：なし
6. 会議内容：

開会 事務局が司会進行

- 挨拶 瀬尾会長
- 議事（進行は瀬尾会長）

(1) 前回の議事録の確認

発言者	発言内容
事務局	前回の議事録について説明
質疑なし	

(2) スポーツ推進計画修正案について

発言者	発言内容
事務局	スポーツ推進計画の修正案について説明
質疑	
第1章から第3章について	
委員	※計画案中の文言について複数の指摘あり
委員	※計画案中の文言について複数の指摘あり
委員	「小中高校生のスポーツ実施率（週1回以上）」について、目標を「週1回以上」とした理由は？
事務局	成人の目標を「週1回以上」としていたので、それと同じにした。

委員	<p>あまり根拠がないのであれば、全世代で「週1回以上」としてはどうか。</p> <p>小中高校生と分けるのであれば、成長期に「週1回」の運動では足りないと思う。大人がスポーツをするのと、子どもがスポーツをするのは、成長の段階で全然違うと思う。「週1回」というのは、もう少し検討が必要では？</p>
委員	<p>これは、調査自体が「週1回」運動をしているか、していないかと聞いているのではないか？</p>
事務局	<p>設問は「週3日以上」「週1～2日」「月1～2日」「ほとんどしない」「全くしない」としている。</p>
委員	<p>「週1回」と「週1日」というように、表記にばらつきがある。</p>
事務局	<p>目標指数は前回も「週1回以上」としていたが、「回」と「日」の使い分けについて、深い意味がある訳ではないと思う。</p>
委員	<p>どちらかに統一するべきではないか。</p>
事務局	<p>それなら、「週1日以上」の「日」に統一するべきだと考える。</p> <p>また設問に「週3日以上」「週1～2日」とあるので、「週3日以上」での実施率での把握は可能。</p>
会長	<p>これは、前回の計画では目標値として採用されていないのか？</p>
事務局	<p>前は「スポーツ少年団の加入率」を採用していた。</p> <p>これを「小中高校生のスポーツ実施率」に変更し、目標値は成人と揃える形で「週1日以上」を提案した。「週1日」で足りない場合、「週3日以上」は把握可能。</p>
委員	<p>小学生は、体育を含めるとスポーツを実施していることになるのでは？</p>
会長	<p>体育を含めると、すべての児童や生徒が週に何度かスポーツをしていることになる。</p> <p>また小中高校生への調査結果の出典は？</p>
事務局	<p>P6のアンケートの調査概要にあるように、小中高校生へのアンケート結果から引用している。</p>

会長	国や県では、「週1日以上」で良いかどうかについて、目標値を立てているわけではないので、本市独自で定めてよいが、体育の授業とは分けて定めるべき。
事務局	今回のアンケートの設問では、「体育」と「その他のスポーツ」を区別していないので、把握が困難。
会長	次回はそこを明記してアンケート調査する必要がある。
委員	スポーツ実施率について、「全くしない」という人をなくすことを目標とするスタンスなら、「週1日以上」で良いのでは？ 弓道をやっている中学生で、練習場所が遠いので「週1日」しか行けないケースもある。目標値が80%なので、残り20%は文化的な活動を何かしているのかもしれない。100%というのは無理なので、「週1日以上」でも良いのでは？
委員	今回「体育」も含んで調査した結果がこの数値で、次回「体育」を除いて調査すると数値は下がる。それらを比較しても成果がなかったという結論になってしまうので、今回と同じような設問にする必要がある。 次回も「週3日以上」「週1～2日」というのは聞くとと思うので、そこは委員の中で評価すればよい。全体に示すのは「週1日以上」で良いのでは？
会長	今後の部活動地域移行において、スポーツを行う子供と、行わない子供が二極化することが懸念される。その点を考えると、様子を見るということで「週1日以上」としてはどうか？
委員	いろいろな状況があるのは分かるので、「週1日以上」でもよい。
委員	次回のアンケートでは「体育を含む場合」と「体育を除く場合」に分けて、設問を2種類設定してはどうか？
会長	その設問の設定だと、「体育を含む場合」は100%になると思われる。今後は「体育を除く場合」の数値の把握が必要。
委員	小学校では業間休みに運動しているので、そこも考慮が必要。
委員	小学校の現場では、お昼休みとか中間休みに外で遊んでいることも、運動に含んでよいと思う。

会長	聞き方としては、小学生・中学生・高校生と年代によって分ける必要がある。計画に盛り込むかどうかは別として、現状を把握するためには必要な設問。
委員	本市の現状と課題の部分のうち、「1 スポーツ活動の推進」中の課題の中で一部表記の仕方を変えた方が良い箇所がある。
事務局	指摘箇所は市の総合計画に掲載される箇所。本計画はそれに対する個別計画なので、より詳しく記載するのは問題ないが、総合計画に掲載した内容を落とすことは難しい。
委員	2つの文章をつなげて1つにしては？
事務局	検討させてほしい。
委員	成人のスポーツ実施頻度で、設問は「週1回」だが回答は「週1日」となっているので、統一するべき。
事務局	統一した表現に修正する。
会長	本計画では成人のスポーツ実施頻度の目標数値を40%としているが、国・県は70%としている。市の考え方は？
事務局	令和元年が約40%で現状が28.5%であったので、前回の状況に戻す必要があると考え40%とした。 この点については、検討させてほしい。
委員	小中高校生のスポーツ実施率の現状値はどこに記載されているのか。
事務局	小学生・中学生・高校生の回答を集計して算出している。
委員	「3 計画の目標指数及び目標値」の脚注に、小中高校生のスポーツ実施率についても引用元の記載が必要。
事務局	追記する。
会長	小中高校生をまとめて目標値とすることについて検討が必要。
事務局	検討する。
委員	部活の地域移行で運動をしない子供が増加すると思われるので、目標達成は難しいのではないか。
会長	現状で将来の予測が難しいため、一旦目標値を定めた上で、次回の見直しの際に、その時点の現状を踏まえて次の目標値を検討

	することになる。
第4章 基本方針1 について	
委員	「女性がスポーツに参加しやすい環境づくり」のところで、計画内で紹介できるような具体的な取り組みはないか。
委員	「女性がスポーツに参加しやすい環境づくり」は、子育て世代だけが問題ではない。ACPも含めた子どもへの取り組みを重点的に取り組むことを意図するのであれば、このように書いても良いが、女性はいろいろな世代がスポーツに参入できない問題を抱えている。役員比率も30%は超えていない。意図は理解したが、女性というところを子育て世代だけにするのは危険な面もある。
事務局	ここに付け加えるなら、どのような内容が必要か。
委員	女性のサポート、指導者の育成の部分。そこに女性が入れないため、次世代に繋がらない。 「する」だけではなく「ささえる」部分。そうしていくと、「する」子どもたちも、それを見ていく。まずはその部分が必要。
事務局	表現については、個別に相談しながら検討する。
第4章 基本方針2 について	
委員	「誰もがアクセスすることができる」環境の整備の部分に、センターの役割を明確に記載することが必要。 センターは、各世代がスポーツに「親しむ」、「する」「みる」「ささえる」につなげていくために新設されることが、分かるようにする必要がある
事務局	検討する。
委員	「熱中症対策」の部分について、扇風機ではなく空調機の設置と記載できないか。
事務局	猛暑が続いている現状は承知しているが、表記は扇風機等とさせてほしい。
委員	ここでいう体育館とは、どこの体育館か。
事務局	学校は教育委員会が所管の為、当課が所管する体育施設が対象。

会長	<p>「市民誰もが、生涯にわたりスポーツができる環境整備」とあるが、「スポーツができる」というのは「するスポーツ」と聞こえる。「ささえるスポーツ」や「みるスポーツ」も含まれてくるので、表記について検討が必要。</p> <p>取り組み内容についても、「スポーツに関するボランティアがしたい」子どももいると思うので、同様に検討が必要。</p>
委員	このセンターは、中学校の地域移行に対するセンターという意味か。
事務局	きっかけは中学校部活動の地域移行だが、本市ではそれにとどまらず、地域のスポーツ団体と多世代の住民の方を結び付け、地域全体でスポーツが活発になるよう取り組む組織としている。
委員	それをスポーツ協会にできるのか。中学校部活動の地域移行だけでも大変だろうと思う。センターが各地域のとりまとめまで行うことを、スポーツ協会は理解して考えているのか。
事務局	現在は準備期間で体験会などを開催している。
委員	センターが、スポーツをやりたい住民とスポーツ団体を、きっちりつないでくれるならよいが、登録情報を開示して終わりでは、なかなかうまくいかないと思う。
事務局	マッチングはセンターが行う。令和7年度からセンターを設置して地域クラブを受け入れる。最終的にはシステムといった形になると思うが、お知らせもして、希望を受けてやっていく。
委員	それならばよいが。
事務局	スポーツ協会はこれまで、下部組織のことは知っていても、地域の活動は知らなかったと思う。そのため、昨年度からスポーツ振興委員会の総会にも出席してもらい、スポーツ推進委員とも連携するなど、スポーツをする団体と繋がる土台作りをしてもらっている。

委員	ここでいうセンターは、スポーツだけのことか。
事務局	文化については、文化振興財団に設置される。
委員	今後、多世代の交流に取り組んでいくなら、スポーツコミッション的な形での文言も盛り込んでほしい。
事務局	事務局でもスポーツコミッションについては認識しているが、実際にここに盛り込むかは検討させてほしい。

- 次回の策定委員会について

日時：令和6年11月11日（月）19時00分～20時30分

場所：周南市役所 2階共用会議室F